

長岡市の学校教育

長岡市教育委員会

長岡市総合教育会議 **米百俵のまち長岡 教育大綱(令和2～6年度)**

基本理念

子どもたち一人ひとりの個性が輝き、幸せを創り出していける教育の推進

米百俵のまち長岡 長岡市教育振興基本計画(令和3～7年度)

施策1 郷土愛の醸成による人材の育成

施策2 保幼小中連携による一貫した教育の推進

施策3 オール長岡で子どもを育む教育の推進

施策4 子ども・子育て支援の充実

施策5 質の高い教育を実現する教育環境の充実

長岡の子どもの期待像
一愛・夢・パワー 輝け!長岡の子ー

- 米百俵の精神に学び 新しい長岡を 創造する子
 - ・長岡の歴史や文化に学び、郷土「長岡」を見つめ直す
 - ・長岡の自然や環境を大切にしながら、これからの長岡を展望する
- 信濃川のように 大きく 心豊かに生きる子
 - ・他のよさを認め、思いやりをもって行動する
 - ・心身ともにたくましく、目標に向かって前進し続ける
- 夢をもち 広い世界へ チャレンジする子
 - ・自分のよさを生かし、広い世界への挑戦を目指す
 - ・郷土「長岡」を愛するとともに、国際社会に目を向ける

(平成14年度に、校長会からの要望に基づいて策定)

学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」等の実現により、子どもたちが未来を切り拓くための資質・能力を育成することが求められています。
長岡市教育委員会では、このことを踏まえながら、これから到来するとされる Society5.0 時代を見据え、子ども一人ひとりが自立し、多様な価値観をもつ人々と協働しながら、主体的に物事を判断できる力を身に付け、新たな価値を創造していくことのできる人づくりを進めます。
学校・地域の実情や児童生徒の実態に応じて重点化を図ったり、強調期を設けたりするなど、各校で創意工夫しながら実践してください。

熱中!感動!育む教育
夢を描き志を立てて生き抜く力を育む

方策Ⅰ 確かな学びを実現する学校・園づくり

方策Ⅱ 子ども個性・可能性を伸ばす学びの場づくり

方策Ⅲ 子どもが熱中・感動する豊かで多様な体験づくり

方策Ⅳ 子どもの育ちをしっかりと支える土台づくり

※Edu-Diver=Education(教育)と Diversity(多様性)を組み合わせた名称

Edu-Diver 構想に基づく1人1台端末を活用した個別最適な学びや多様な学びの実現

令和3年度
学校教育の共通実践事項

コミュニティ・スクールによる学校・地域の協働体制構築の推進

7項目15の共通実践事項

- ▶ 地域教材「ながおか学」や地域の人材、施設、自然、特産等を活用し、ふるさと長岡を学ぶとともに、未来の長岡につなげる学びの場を工夫する。
- ▶ 平和教育の着実な実践につなげるため、体験的な活動や学んだことを発信する活動を取り入れる等、各学年の発達段階に応じた指導を工夫する。

人生や社会に
生きる確かな学び

授業イノベーション

長岡への愛着と誇りを育む学習

ふるさと学習

夢・志・自信を育む教育活動

熱中・感動体験

- ▶ ICTをツールとして駆使できる学習環境の中で、子どもが学びの主体となる「主体的・対話的で深い学び」を実践するとともに、様々な人と協働し、新たな価値の創造に挑む多様な学びを展開する。

- ▶ 文章・図表・グラフ等の様々な情報を処理するなど、物事を的確に理解する読解力や、他との関わりの中で目的に応じて自分の考えを工夫して表現・発信する力を高める指導を工夫する。

- ▶ 子どもの発達段階に応じて、「夢・志・自信」の育みにつながる豊かな体験活動を系統的に位置付け、その目的に合わせた事前・事後の活動についても充実を図る。

一人ひとりが輝く確かな学びの実践

- ▶ どの子にも役割や活躍する場を用意して、達成感を味わわせる教育活動を実施する。
- ▶ 個々の教育的ニーズに基づき、本人・保護者に寄り添ったインクルーシブ教育システムの構築に努める。
- ▶ 「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」「すこやかファイル」を適切に作成し、引継ぎ、活用することで切れ目のない支援を行う。

一人ひとりを大切に
した支援

インクルーシブ教育
システムの構築

互いに認め合う
温かな人間関係づくり

道徳教育・
人権教育の充実

学びを支える土台づくり

- ▶ 互いの考えの違いを認め合い、尊重し合うことを基盤とし、「考える道徳」「議論する道徳」の授業を実践する。
- ▶ 一人ひとりに正しい人権感覚を育むため、同和教育を中核とした人権教育を実施する。
- ▶ 地域素材を取り入れながら、子どもの豊かなキャリア形成に向け、特別活動における実践を中核に、総合的な学習の時間、道徳科の見直し・改善・充実を図る。

安心・安全で心やすく
学校づくり

チーム学校の体制強化

保幼小中及び地域・家庭
との連携・協働

学びをつなぐ活動の工夫

- ▶ 日ごろの対話、相談活動、定期的なアンケート等により、子どもの思いを受け止め、情報共有や組織での的確な対応、関係機関との連携を迅速に行うことで、いじめを見逃さない学校づくり、不登校解消のための支援に努める。
- ▶ 児童生徒の健康面への影響等に留意しながら、情報活用能力の育成とともに、「長岡市SNSセーフティープログラム」を活用した情報モラル教育を推進する。
- ▶ 地域との合同防災訓練の実施等、実践的な活動を位置付けた防犯・防災等の安全教育を推進する。

- ▶ 教育課程において、子どもに「どのような資質・能力を身に付けさせたいか」を明確にし、学校・園、中学校区単位で相互の理解を図りながら、それぞれの役割を活かした連携・協働活動の充実を図る。

※「一人ひとりが輝く確かな学びの実践」と「学びを支える土台づくり」の各実践は、相互に補完し合い、往還させながら取り組む。